

# 感染対策に関する事例紹介

神奈川県医療危機対策本部室  
クラスター対策班

# 本日の流れ

- オミクロン株流行期の対応事例
- ウイルスの流入や感染拡大を防ぐための対策、  
人員・物資支援の事例
- よくある質問

# 高齢者施設における オミクロン株流行期の対応事例

## 第6～8波(オミクロン株の流行期)で見られた特徴

- 感染拡大が早い  
→初発感染者の判明時点で感染拡大を防ぐ対策実施と、  
万が一の感染拡大に備えた準備が必要
- 換気の悪い環境では感染しやすい  
→職員間の感染について準備と対策が必要
- 感染者数が急激に増加するなど、状況の変化が速い  
→感染者数などに応じた明確な対策の設定と、  
全ての施設職員でその共有が重要

# オミクロン株の流行期の事例 ー施設概要ー

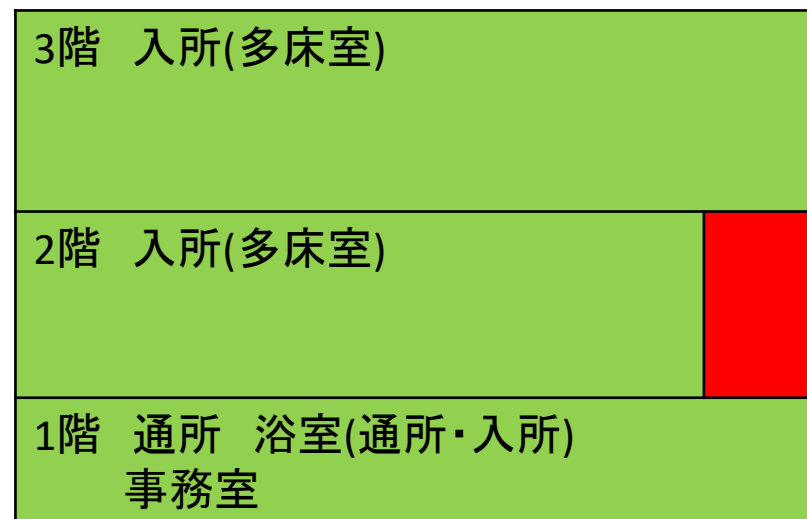
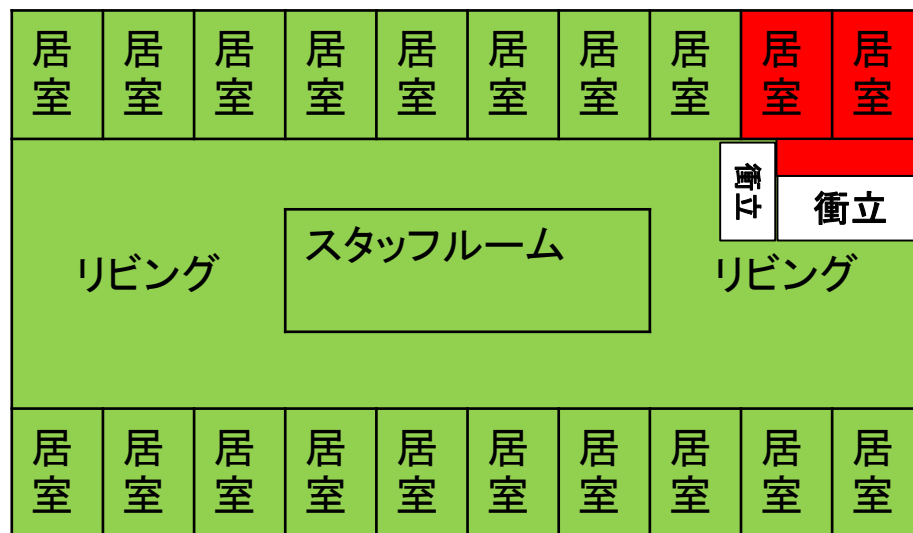
- 入居フロア:2階、3階
- 施設1階は通所フロア、入所者用浴室、通所者用浴室、事務室
- 利用者居室は多床室
- 利用者の自立度は比較的高いが、徘徊もある
- スタッフルームは構造上、換気が難しい

居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室
リビング			スタッフルーム			リビング			
居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室

3階 入所(多床室)
2階 入所(多床室)
1階 通所 浴室(通所・入所) 事務室

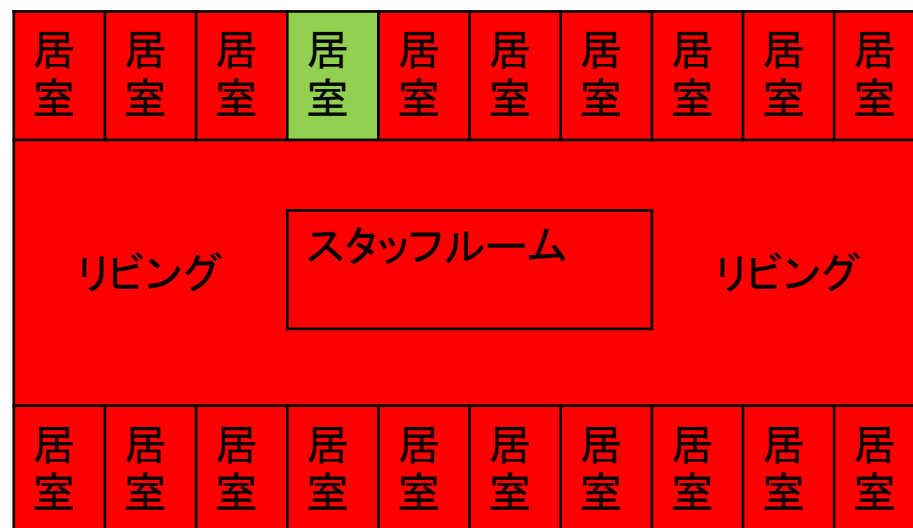
# オミクロン株の流行期の事例 ー初期対応、目標設定ー

- 利用者の生活領域を確保する隔離の実施(想定範囲内への感染の制御、QOL重視)
- 未発生フロアへの感染拡大の防止
- 介助職員の応援について調整(法人内・行政)
- 指揮命令者の感染に備えて、代理可能な職員の確保
- 重症化リスクのある利用者のリスト化、医療体制の確認と対応準備



# オミクロン株の流行期の事例 ー感染拡大期ー

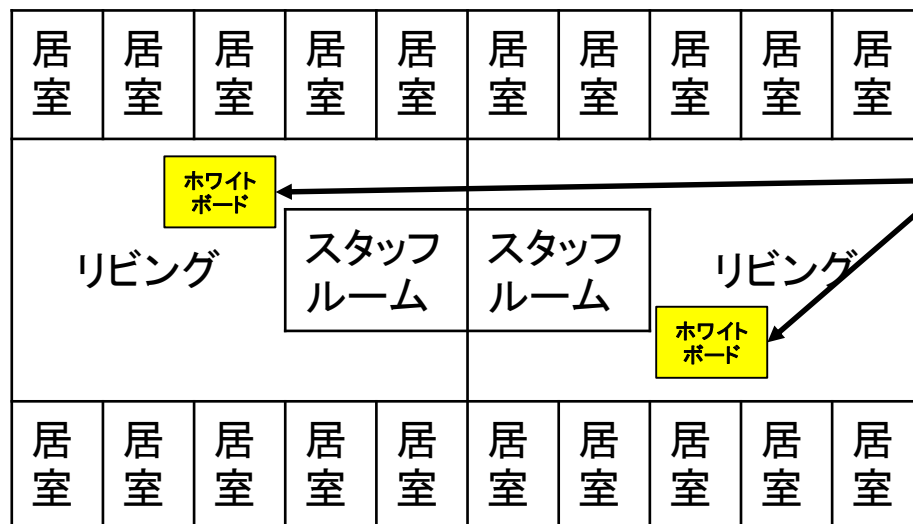
- 陽性者の隔離を一部解除、陰性者と時間をずらしてリビングを使用するなど、**QOL低下を最低限に**
- 未発生フロアへの感染拡大の防止(継続)
- 指揮命令者が感染した場合、指揮命令系統を再構築
- 職員間の感染を防ぐため、職員休憩室を1階浴室へ変更
- 重症化リスクのある利用者の隔離



# オミクロン株の流行期の事例 ー情報共有ー

- ホワイトボードを職員が見やすい場所に設置し、目標と情報共有を徹底

(ホワイトボードの記載例)



3月1日

陽性者 利用者3名  
職員2名

〇〇介護士発熱→9時受診予定  
代理〇〇主任  
201号室Aさん 10時入院予定  
202号室Bさん 11時〇〇先生往診  
保健福祉事務所来所 15時～  
質問は〇〇看護師へ

居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室
居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室
リビング	スタッフ ルーム	スタッフ ルーム	リビング	居室	居室	居室	居室
居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室	居室

※N95着用徹底！！



## この施設で実践していたこと

- **感染者数などに応じた感染対策の実施**
  - 一時期に多数の職員が感染することを防いだ
  - 利用者へのケアや医療が滞らなかった(死者0名)
- **利用者のQOLも視野に入れた対応**
  - ADL低下が最小限にできた
  - 療養解除後の日常生活への復帰が容易であった
- **職員間の目標と情報の共有**
  - 情報集約、指揮命令系統が途絶えなかった
  - 外部からの支援を適切に受けることができた

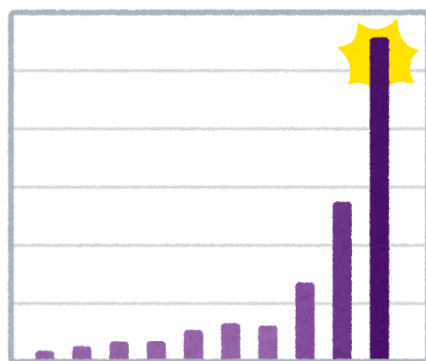
# ウイルスの流入や感染拡大を防ぐための対策 人員・物資支援の事例

# ウイルスの流入や感染拡大を防ぐための対策

市中の感染レベルが高く、年末年始等で人の交流が活発な時期は施設内にウイルスが流入しやすくなります。流入や感染拡大を防ぐために職員がN95マスクを常時着用し、感染拡大を防いだ。

感染レベルが高

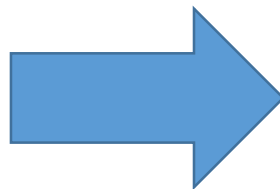
年末年始等で職員の  
帰省や人との交流が  
多い時期



市中の感染レベルが高い時期は、ウイルスの流入や感染拡大に備えるため、職員がN95マスクを常時着用

## 人員・物資支援の事例

複数の施設を運営する法人での施設間連携事例。職員への感染拡大などで運営に支障が生じた施設に対し、同一法人内で指揮命令系統の人員(エリアマネージャー等)や介護職員等の人員支援や、物資支援を行う。



事前に法人内の施設間での  
人員・物資支援体制の確立

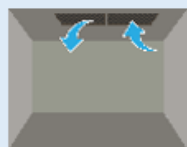
感染拡大等で運営に支障  
が出た施設への応援



# よくある質問

# 十分な換気のために

十分な換気のための取組み例。状況に合わせて活用する。



機械換気設備を  
常時稼働させている



2方向の窓を開けている



1つの窓しかないが、窓際に  
扇風機やサーキュレーター  
などを外向きに稼働



窓がない・開けられないが、  
空気清浄機や空気ろ過装置を稼働

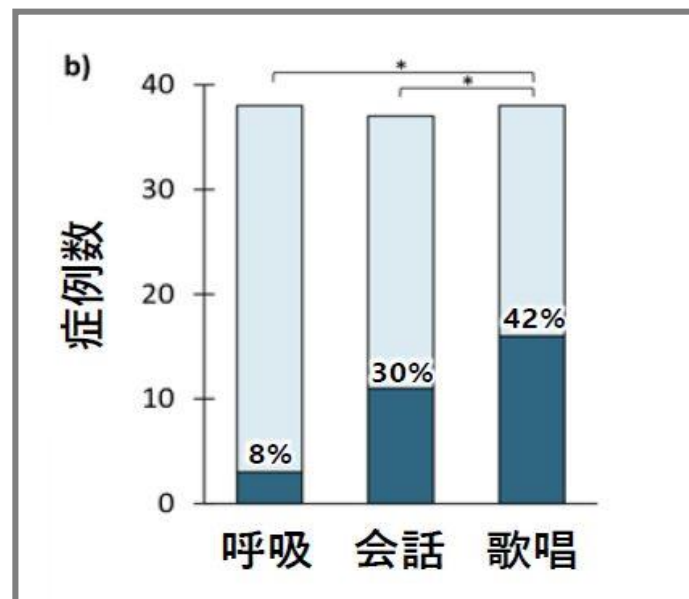
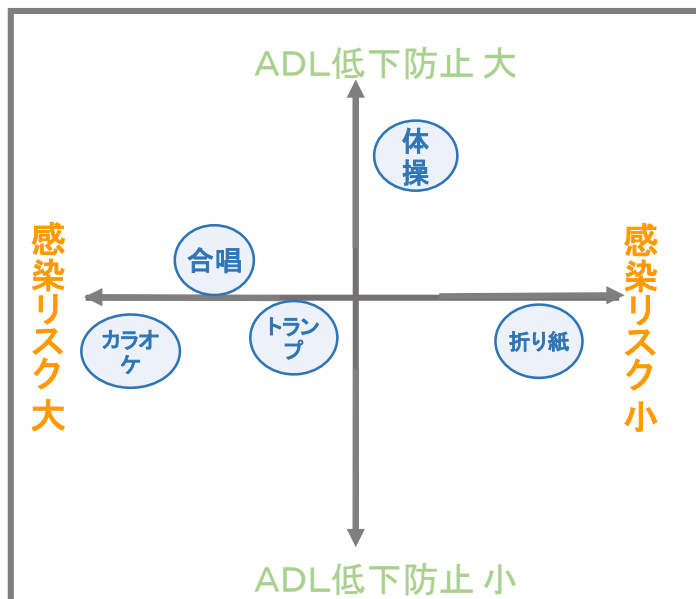
## ＜留意事項＞

- ・ 換気扇などの機械換気設備は日頃から点検・清掃を怠らないようにする!
- ・ CO<sub>2</sub>濃度計を活用し、800ppmを超えないように換気する!
- ・ 施設内の通路側のドアは閉め機械換気等を適切に行う!



「高齢者施設・障害者施設における換気のチェックリスト」. 東京iCDC換気・室内感染対策タスクフォース.2022. より引用・追記

# レクリエーションに関して(高齢者施設の場合)



Clin Infect Dis. 2022 Mar 10;ciac202. doi: 10.1093/cid/ciac202.

感染リスク(デメリット)と  
得られる効果のバランスを考える

# 職員がマスクを着用できない場合の考え方の例

STが口の動きを見る・見せるため、マスクが出来ない

↓ リスク・ベネフィット(便益)を評価

リスク: マスク着用ではケアの質低下、又はケア実施不可  
便益: マスク着用で職員-利用者間の感染防護が可能

↓ リスクレベルに応じて対応を決める

対応例

平常時の対応: 換気、密回避等を行い、通常ケア実施  
市中感染が多: ケア一部制限、可能な範囲でマスク着用  
施設内発生時: ケア制限又は代替ケアの検討

↓ 守るべきラインの設定

リスクを把握、基本的な感染対策、ケア時以外マスク着用

一律に決めるのではなく、リスクと効果を検討の上で運用を決定



# 面会、面会者等の施設立入の考え方の例

居住エリア・居室での面会を実施したい

↓ リスク・ベネフィット(便益)を評価

リスク: 面会者によりウイルスの持ち込み

便益: 家族が居住エリアを直接見ることによる不安解消

↓ リスクレベルに応じて対応を決める

対応例

平常時の対応: 職員立会、感染対策実施で通常面会実施

市中感染が多: 居室面会制限、感染対策実施で面会実施

施設内発生時: 面会中止、又はオンライン面会等で代替

↓ 守るべきラインの設定

面会者・職員がリスクを把握、基本的な感染対策の実施

一律に決めるのではなく、リスクと効果を検討の上で運用を決定

# 職員、利用者の交流実施の考え方の例

居住エリアを跨いだ利用者・職員の交流を実施したい

↓ リスク・ベネフィット(便益)を評価

リスク: 複数の居住エリアへの感染の拡大

便益: 利用者・職員の交流による相互理解の増進

↓ リスクレベルに応じて対応を決める

対応例

平常時の対応: 感染対策実施の上で通常の交流実施

市中感染が多: 居住エリアを跨いだ交流の一部制限

施設内発生時: 感染発生エリアとの交流中止

↓ 守るべきラインの設定

リスクを職員各自が把握、基本的な感染対策の実施

一律に決めるのではなく、リスクと便益を検討の上で運用を決定

# 重症化と治療薬

- ・ ワクチン接種や感染経験により重症化率・死亡率は低下
- ・ 一方で、高リスク者では「コロナ」が「最後の一押し」となる場合が多い
- ・ コロナ治療薬（経口薬）は一般流通されているため、どこの医療機関でも処方が可能
- ・ 発症後速やかに治療薬の処方が必要



**陽性者が発生した際には処方について早急な意思決定が必要**

- ・ 当該入所者の家族等に、治療薬処方の意向を事前に確認
- ・ 提携医療機関等が処方および要否判断が可能かを事前に確認
- ・ 実際にどの治療薬が投与できそうか確認（併用薬、嚥下能力など）

対象：既往症、年齢、体重等

形状：ラゲブリオは長さ2cm超、直径1cm弱のカプセル

投与方法：ベクルリー、中和抗体薬は点滴や注射

併用薬：パキロビット、ゾコーバには併用禁忌、注意薬が多数



# N95の使い方の間違い



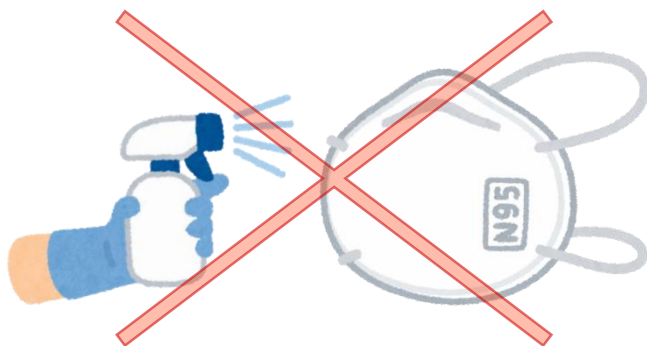
N95マスクが汚れることを嫌い、

**サージカルマスクの上からN95マスク**

→隙間ができるためNG

・**紐を正しく着けない**

→密着性の低下



**N95マスクをアルコール消毒**

→静電気でウイルスを吸着するので、

効果が大幅低下

# 洗濯に関して

医療法上、病院では「80℃以上の熱湯に10分間漬ける」「次亜塩素酸に漬けて一次洗浄する」とされたが、現実的に福祉施設で行うのは大変

- 通常の洗剤での洗濯でも「界面活性剤」がウイルスを不活化するため、効果が十分
- 柔軟剤に含まれる「第4級アンモニウム塩」がウイルス不活化に有効と考えられている
- 乾燥や紫外線でもウイルスは不活化する

通常の洗濯機での洗濯でウイルスは十分不活化できる  
→ 洗濯機に入れるまでの感染予防が重要

出典: 独立行政法人製品評価技術基盤機構 消毒手法タスクフォース令和2年6月26日(金)発表資料  
新型コロナウイルスに対する消毒方法の有効性評価について最終報告をとりまとめました。～物品への消毒に活用できます～

## 食器に関して

### よくある質問

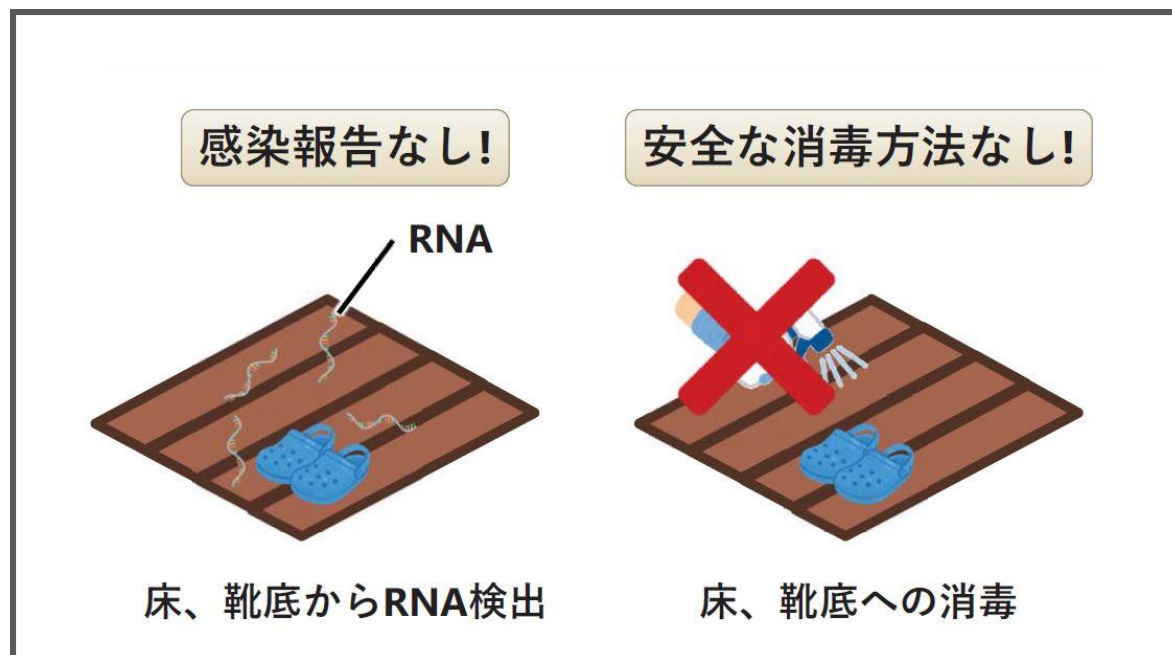
- ・ 陽性者の食器は使い捨てにするべきですか？
- ・ 陽性者が使い終わった食器はハイターで何分消毒すれば良いですか？

- ・ コロナウイルスは付着した場所から勝手に動き回ることはない。
- ・ コロナウイルスは**界面活性剤で不活化**する。
  - 食器用**洗剤**で対応可能
  - 食器に触れた者は**手指消毒**を行う

普段通りの洗浄を行えば良い

委託業者等と調整の上で運用を決定する

# 床の消毒に関して



新型コロナウイルス感染症に対する感染管理(2020年6月2日改訂版). 国立感染症研究所